

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 （東京都）江東区立第二南砂中学校（※正式名称を記載）

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒136-0076

東京都江東区南砂1-2-18

E-mail t-minegishi@koto-edu.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 203名 女子 233名 合計 436名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「豊かな心の育成」を学校理念として、ESDを将来における明るい未来を見据えた学習と捉え、ESDの実践を通してこの世の中を生き抜く力の育成を目標とした。

具体的には、防災、伝統文化の継承、食育を柱に、①防災に係わる活動、②日本の伝統文化に係わる教育、③食育に係わる学習を行った。

① 防災に係わる活動

11月19日に江東区総合防災訓練を本校の校庭・体育館において実施しました。近隣から、地域の方や小学生も参加した大規模な訓練になりました。

本校生徒も多数参加しました。起震車体験や消火体験、展示コーナーにおける防災の話、最後に自衛隊による炊き出しのカレーライスをいただきました。町会、自治会、PTAの皆さんも参加して、区の職員と共に我が町の防災についての学習ができました。

② 日本の伝統文化に係わる教育

3月9日に風呂敷研究家・和文化コンシェルジュのつつみ純子氏をお招きして3年生に対して、風呂敷講習会を実施しました。現在なかなか風呂敷を利用する場面が少ないですが、色々な用途があり、とても便利なものであることを教えていただきました。100枚以上の風呂敷を用意して、各自が自分の手で風呂敷を扱う体験ができました。

③ 食育に係わる学習

○ミルク教室（1年生）～日本乳業協会～

1. 給食で毎日牛乳が出るのはなぜかを知る。
2. 自分の身体の成長に役立つことに気付く。
3. バター作り体験。

○おだし教室（2年生）～にんべん～

1. 日本の食文化を知る。
2. かつおぶしを削る。
3. 色々なだしを取って飲み比べる。
4. だしがらでふりかけを作る。

○お箸教室（3年生）～兵左衛門～

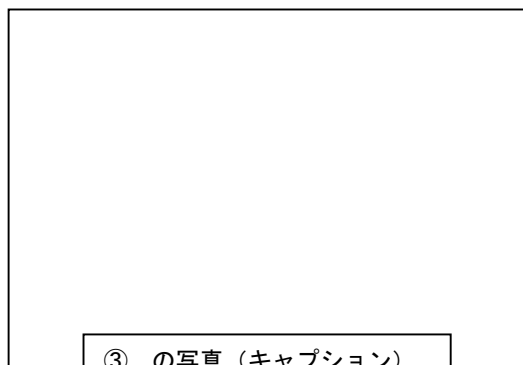
1. 箸の正しい持ち方を知る。
2. 食事のマナーを知る。
3. マイ箸を作る。



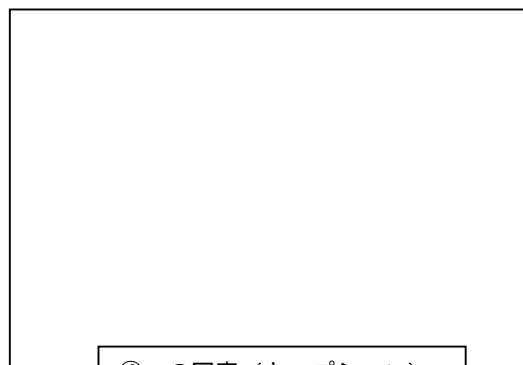
① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)



④ の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

課題解決型の学習課程を重視した教育課程を編成している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

活動行事をこなすだけになってしまっているところを、改善していきたい。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

評価はおこなっていない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

積極的に発信できなかった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

ネットワーク形成はできていない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

交流できていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

防災・伝統文化・食育に関して教育課程に位置づけ、継続的に長期的に行っていく。